

シラバス詳細

タイトル「2024年度シラバス」、カテゴリ「経済経営学類」

科目情報

< 7/7件 >

科目名

国際協働プロジェクト学習Ⅱ

講義名

国際協働プロジェクト学習Ⅱ

クラス

担当教員

ケルト・ヨスト・ワター(r449@ipc.fukushima-u.ac.jp)

実務経験のある教員による講義

学年

2年、3年、4年

キャンパス区分

金谷川キャンパス

開講学期

前期

開講時期

(前期)

曜日・時限

木4

講義室

講義室未設定

科目種別

通常講義(学類)

ナンバリング

z0300240

科目区分

自由領域科目(学類)

単位区分

自由

単位数

2

準備事項**備考****特修プログラム****直接参照URL**

https://livecampus.adb.fukushima-u.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=047340156490&formatCD=1

授業方法

講義、演習、グループワーク、発表、ディスカッション、フィールドワーク、ICT機器の活用

講義情報**授業概要とねらい**

テーマは「縁」です。学生たちは、歴史的、経済的、対人関係など、福島内外の様々な縁を掘り起こし、短い発表で紹介します。これらの「縁」の中からいくつかを選択し、グループ発表プロジェクトのテーマにします。その場での発表だけでなく、ビデオの上映など、様々な形をとることができ、発表が生配信されます。共同作業には、協力、分業、異なる文化的背景間の相互理解が必要となります。自由な表現・注意深いリスニングを通じて、生徒は多文化・言語コミュニケーションにおける「意味ある交流」を体験します。縁を見つけるには、福島の様々な側面について研究し、仲間と共有する事により福島に対する包括的な理解を深めます。

単位認定基準

1. 多国籍、多文化のセッティングで積極的・調和的にグループワークができる。
Able to work proactively and harmoniously in a multinational- and multicultural setting.
2. 福島の内外的様々な「縁」そしてその概念をよく理解している。Shows a solid understanding of the concept of 'en' and examples in and with Fukushima.
3. ICT手段で正確かつ分かりやすく発信できる。
Able to communicate their knowledge accurately, using IT-tools.

授業計画

授業計画（週形式）

- 1 イントロダクションとアイスブレイク Introduction and ice-breaking
- 2 「縁」の概念 The concept of 'en'
- 3 ストーリー・サークル Story-circle session
- 4 ストーリー・サークル振り返り Story-circle reflection class
- 5 ゲストスピーカー① Guest speaker 1
- 6 ゲストスピーカー② Guest speaker 2
- 7 グループ形成・プロジェクトについて Group-formation/projects
- 8 プロジェクトシートの完成 Project sheet completion
- 9 プロジェクト案の発表会 Project proposal presentations
- 10 プロジェクト実施 Project execution week
- 11 生配信ソフトの使い方 Using livestreaming software
- 12 プロジェクト実施・進捗状況確認 Project execution/progress check
- 13 リハーサル Rehearsal
- 14 生配信（本番） Livestream
- 15 振り返り Reflection

教材・教科書

All necessary readings will be provided by the teacher.

参考図書

Ishii, Satoshi. "Developing a Buddhist En-Based Systems Paradigm for the Study of Japanese Human Relationships." Japan Review,

No. 10 (1998): 109-122

参考URL

授業外の学修、及び必要な学修時間

This course will rely heavily on students meeting outside of class to conduct their research and study. Based on the credit system, a minimum of 30 hours of out-of-class study time is required.

成績評価の方法

グループワーク Group contribution 50%
中間レポート（プロジェクト提案） Mid-term (Project Proposal) 25%
グループ発表 Final Group project execution 25%

成績評価の基準

- S: 単位認定基準を満たし、かつ全ての項目で優秀な学修成果をあげた（90～100点）
- A: 単位認定基準を満たし、かつ多くの項目で優秀な学修成果をあげた（80～89点）
- B: 単位認定基準を満たし、かついくつかの項目で優秀な学修成果をあげた（70～79点）
- C: 単位認定基準を満たす最低限の学修成果をあげた（60～69点）
- F: 単位認定基準の学修成果をあげられなかった（～59点）

オフィスアワー

Fridays 3rd and 4th period (appointment will be required)

授業改善・工夫

授業の内容とペースは受講者の語学レベルに応じて順次調整されます。The content and pace of the course will be adjusted according to the language proficiency of the students.

留意点・注意事項

日本人学生も受講することは可能ですが、このコースが英語で行われますのでご注意ください。Japanese students can participate, but please note that the course will be conducted in English.

教員の実務経験の有無